

5千円給付案

3/18 初回

なぜ高齢者だけ

相次ぐ批判「選挙目当てでは」

政府・与党がコロナ禍の高齢者向け支援策として検討する「年金生活者臨時特別給付金」が波紋を呼んでいる。複数の与党幹部によると、約2600万人に一律約5千円を配る案も浮上。現役世代とのバランスを欠くため、若者や専門家からは批判が相次ぐ。野党も国論戦を持ち込んだ。

「何で高齢者だけなんですか。選挙目当てで言つたんじゃないですか」。17日の

参院予算委員会で立憲民主党的連舫議員が指摘した。岸田文雄首相は「コロナの影響の中で重層的に様々な政策を用意していますが、対応が及んでいない方がおられるかどうか、こういった議論だと願う」として、「様々な状況をみた上で政府として検討したい」と答えた。

給付金は15日と眞理、公明両党幹部が首相官邸を訪れて要望した。対象は高齢

者のか、障害や遺族年金

の受給者で、所得が低い住

民税非課税世帯向けの10万

円の「臨時特別給付金」を受け取った人は除かれる。

高齢者が受け取る年金額

は4月からの来年度、今よ

り0・4%下がる。検討中

の給付金で穴埋めする」と

なを目的にする」こと。

若い世代からの反発は強

い。若者の視点から各党に

政策提言をしている一般社

団法人「日本若者協議会」

の代表理事、塩橋祐貴さんは「何としでも参院選のあはる7月までに高齢者にお金を入れたいのだね」と切り捨てる。

財源として見込まれるのは、自民、公明両党が賛成した16年成立の改正法に盛り込まれたものだった。

は、自民、公明両党が賛成

した16年成立の改正法に盛

り込まれたものだった。

社会保険制度に詳しい日本総合研究所の西沢和彦主席研究員は、「所得の高い高齢者から再分配する形で高齢者から再分配する形で、赤字国債を発行していく予算を使って、将来世代の負担をさらに増やしながら今の高齢者にお金を配る」とは到底理解できない」と厳しく見方だ。

(井上充農、久永隆一、滝沢卓)